



錦秋 紅葉狩りの話

今年の紅葉はとてもきれいです。「紅葉狩り！」と気合を入れる方も多いと思います。紅葉狩りスポットは全国各地にありますから、皆さんが楽しめるイベントともいえます。しかし改めて考えてみると「紅葉狩りって、何で紅葉狩りっていうの？」と感じたことはありませんか？この疑問をもって調べました。

日本に現存する中では最古と言われる和歌集「万葉集」の中に、『紅葉』や『黄葉』という言葉が出てきます。このことから色づいた紅葉を眺める紅葉狩りは約1200年前から存在し、その美しさについては奈良時代からすでに知られていたと思われます。しかしこの時代は紅葉を眺めに行くことが行事として定着していませんでした。現代のように紅葉狩りが世間一般に広まったのは江戸時代の中期のころとされています。

紅葉狩りに関して現代人が抱く最大の疑問といえば「何故紅葉狩りには『狩り』という文字が入っているのか？」という点ではないでしょうか。「狩り」とは本来、獣を捕まえる意味で使われていましたが、それが時の流れとともに小さい動物や野鳥を捕まえるという意味に広がり、さらに果物などを「採る」という意味でも使われるようになりました。現代でも「いちご狩り」「葡萄狩り」という言葉があるように、「狩り」は獣や動物などを狩るというだけの意味ではありません。やがて「狩り」は紅葉や草花を眺めるという意味でも使われるようになり、現代に至っています。実際に古語辞典にも「狩り」は「求めてとったり、鑑賞したりすること」と記載されています。現在の紅葉狩りは単に紅葉を眺めるだけですが、平安時代の貴族たちは紅葉を求めて山や溪谷へ足を運び、真っ赤に染まったもみじの木を手折り、実際に手にとって鑑賞していたといわれています。つまり当時の紅葉狩りは実際に紅葉を採っていたというわけです。このような理由から紅葉狩りと呼ばれるようになったという説もあります。ちなみに現代社会では実際に紅葉の木を折るという行為はマナー違反になるので、行わないようにしましょう。

最後に紅葉狩りの疑問をもうひとつ。紅葉狩りは「もみじがり」と読みますが、しかし「紅葉」を何故「もみじ」と読むのでしょうか。「紅葉」が「もみじ」と読まれる理由ですが、まずその前に大切なことを一点。実は「もみじ」という樹木は存在しません。私たちが今まで「もみじ」だと思って見てきたものの多くは赤く色付いたカエデ科の樹木です。そして紅葉を「もみじ」と読むようになったのは、染め物の「揉み出づ（もみいづ）」が語源だとされています。紅花染めにはベニバナの花びらを使いますが、この花びらには紅色と黄色の色素が含まれています。まず真水で揉むことで黄色い色素を揉みだすことができ、次にアルカリ性の灰汁（あく）に浸して揉むとその色は一気に紅へと変化するそうです。ベニバナの花びらが黄色や紅に変化する様が秋の樹木と似ていることから「揉み出づ（もみいづ）→紅葉（もみじ）」となったという説が有力とされています。

中国でも昔から文人たちが紅葉を好み、多くの漢詩を詠みました。例えば唐の詩人白楽天は“寄題送王十八帰山仙遊寺”の中で：『林間煖酒焼紅葉、石上題詩掃緑苔』と詠み又、“醉中对紅葉”の中では：『醉貌如霜葉、雖紅不是春』と詠んでいます。紅葉に関する最も有名な漢詩は唐の詩人杜牧が詠んだ“山行”で：『遠上寒山石徑斜 白雲生處有人家 停車坐愛楓林晚 霜葉紅於二月花』と詠っています。紅葉を描いた山水画も数多く残っています。

まだ紅葉が美しいシーズンです。こんな時節ですが、感染に気を付けながら美しい紅葉をお楽しみ下さい。

唐 啓山



今回ご紹介するのは、インターネット上にある人民網日本語版の連載記事である「イラストで知ろう！イマドキ中国」です。TOP ページのトピックスすぐ下にある「コラム」をクリックすると、記事の一覧に進むことができます。

記事は「つるにはまるまるむし爺さん」「へのへのもへ郎」「へめへめつく美」といった、どこか見覚えの

あるキャラクターたちが今どきの中国を紹介してくれるものです。不定期ではありますが、月に一度は更新されているようです。内容はごみの分別やお弁当、習慣や流行についてなど、身近でイメージしやすい話題ばかりが揃っています。

今年には新型コロナウイルスに関連した記事も多いでしょう。中国といえば、最先端の技術と強制力のあ

る政府によって、日本よりも遥かに力強い対策が進められているといった印象がありますが、「新型コロナ下での教育のあれこれ」では、新しい方式に戸惑う先生たちや、父兄を巻き込んで混乱と試行錯誤を繰り返す学校の様子が描かれていて、どこの国でも同じ人間が暮らしているんだなあ、思わず笑みがこぼれてしまいます。

成語故事コーナー

yuēfǎsānzhāng

約法三章 (やくほうさんしょう)

紀元前 206 年、劉邦は大軍を率いて関中に攻め込みました。そして、街を制圧した後、豪華な王宮に留まり、そこで暮らそうと考えました。しかし、臣下の張良は言いました。「豪華な王宮で暮らすようになれば、街の人々との距離が遠くなり、人心を失うことにもなりかねません。」

劉邦は頷き、王宮には守備のため

「約法三章」は、簡単な約束事や規則を意味します。

全盛期には「路不拾遺」のような故事成語が登場するほど厳格な法

の軍隊を残していくことにしました。そして、民心を得るために、街の父老たちを集めると彼らに言いました。

「私は皆に約束しよう。今後は誰であろうと、今から言う 3 つの法を守らせる。

- 人を殺した者は死刑とする。
- 人を傷付けた者は処罰する。
- 人の物を盗んだ者も処罰する。」

律が存在し、治安も良かった秦の国ですが、末期には不正や恣意的な運用が横行してたようです。

そのため、劉邦の掲げた「殺人・

父老たちはそれに賛同し、街の人々に伝えました。その法を聞いた人々は喜び、劉邦の軍に酒などを献上し、歓迎しました。

後に劉邦は天下を治め、漢王朝を建国しました。

傷害・窃盗」を罰するというたった三つの簡明な法が歓迎されたということだそうです。

漢方教室 119 お酒の健康習慣

お酒を楽しく飲むためには、なんといっても「自分の適量を守る」ことが重要です。しかし、仕事のお付き合い、上司の誘い、忘年会、同窓会…私たちの生活にはついつい飲みすぎ要因があふれています。

■二日酔いのメカニズム

アルコールは体内で 2 段階に分解されます。はじめは、アルコール脱水素酵素によって、毒性の強いアセトアルデヒドに、そしてアルデヒド脱水素酵素によって無害化され、体外に排出されます。日本人の 4 割以

上が 2 番目のアルデヒド脱水素酵素の働きが弱いため悪酔いや二日酔いを起こす人が多いとされています。

■ダメージが深刻になる前に

飲み会のとき一緒に飲んだ同僚はピンピンしているのに、どうして自分だけへろへろなのか？それは、体内の酵素が不足していることが原因です。お酒を飲むほど、体内の消化酵素が消耗していきます。お酒を楽しく飲むには、体内酵素の



働きが鍵になります。それをサポートするのが『肝ラク』です。

日本安恵の『肝ラク』は、アルコール脱水素酵素をはじめ、しじみエキス、牡蠣肉エキス、ウコン、亜鉛など 9 種の栄養素を濃縮し、バランスよく配合したサプリメントです。



興味のある方は 052-242-3930 まで。中統ビル 3 階 日本安恵株式会社

中国からの引き揚げ—思い出すがままに④

高校入学早々に出された社会科の英文のプリントの課題は、何カ月かたったのち、施行されて間もない日本国憲法の草案だったことに気付きました。名古屋大学出身で新進気鋭の教師は、日本の民主化の根幹となる「日本国憲法」を生徒たちに原文を示して理解させたかったのでしょう。英語力不足で期待に応えることができず先生には申し訳なく思っています。

戦後10年になろうとする時期、世の中は次第に落ち着きを取り戻しつつありました。しかし、我が家の家計は一向に好転せず、父親は依然としてパンや生菓子の行商を生業とし、日銭を稼ぐ毎日でした。満州で手広くスポーツ用品店を経営していたころのことが忘れられず、人に使われることをよしとしなかったのでしょうか。家族にとってはえらい迷惑な話です。

高校に入学したものの卒業後の進路を考えた時、明るい展望が見えてきませんでした。だれに相談したらいいのかも分からず、お金のかからない進学先を考えることにしました。

第1志望はできたばかりの防衛大学を目指すことにしました。案内を見るとお金を払うことがなく、逆にお金をいただけるということでした。願ってもない進学先です。

杉本 克治

11月誕生日の人の言葉

11月の誕生日の人の言葉はお休みします。

マイブーム

我が家にはアイヌ彫りの熊の置物がある。北海道の土産だ。

ところが最近面白いことを聞いた。北海道のアイヌの彫り物として知られている熊は実は尾張徳川にゆかりがあるというのだ。尾張徳川19代当主の徳川義親は、大正10年スイスへ旅行した際に熊の木彫りに出会ってすっかり気に入り、帰国して尾張藩の北海道開拓団の八雲の人たちに木彫りの熊をすすめ、それがアイヌに引き継がれたという。

ころたん



小原徒然日記

旧小原村は四季桜の里である。例年11月には大勢の人が四季桜と紅葉のコラボを楽しみながら山道を散策する。商店をもたない村人はほとんど自給自足の生活だが、祭りの期間は臨時の市を出して家で収穫した野菜類や自然薯等、婦人会はイナゴのつくだ煮やムカゴ飯、栗おこわや五平餅などをならべる。公民館では村民の手芸、陶芸、写真展、児童の絵画展示の文化祭や、伝統の小原子供歌舞伎も上演される。11月の風物詩であり、仮とはいえ住人仲間になって共に楽しんできた。ところが今年はコロナ騒ぎでどうもいつもと様子が違うらしい。

わたしの小原の家は、山間の、矢作川に入り込む溪流わきにある。せせらぎの音と林の他、周りには何もない。夜は怖いくらい静かで闇である。ことのほか今夜は上弦の月が美しい。星空に時折流星のごとく動く明かりは飛行機らしい。前回来たのは、この集落の秋

の例祭だった。南北朝終わり頃からあるという村社に神職を招いて古式通り神事を行う。毎年祭り前には男衆が全員集まってしめ縄作りをし、当日は新しいしめ縄の神殿に供物をささげて部落全員が参拝する。その際男衆は昇殿を許されるのだが、今年はそれが4人になってしまった。私がこの部落の1員になった頃は12人であった。しめ縄作りの男手も心配だがしめ縄用の稲藁のことも心配だ。部落で唯一残っていた米作り農家が今年限りで水田をやめるといふ。来年のしめ縄はどうなるのだろう。直会(なおり)は中止だったが、これから後どうするか、みんなで考えなくてはならない。

畑で大根が青首を伸ばしている。小麦も芽を出した。牡丹の枯れ葉の陰に来春の蕾がふくらんでいる。冬を待ち望んでいるかのようだ。

石川 敬之

お知らせ

★12月例会

毎年恒例の忘望年会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

★JCCA 中国語サロン

日時：12月5日（土）19日（土）14：30～

★日本語広場

12月の日本語広場はお休みです。

★1月例会

1月の月例会はお正月につきお休みです。

★第15回 名古屋中国春節祭

日時：2021年1月9日（土）

★2月例会

2月の月例会は春節祝賀会です。

上山学院日本語学校からのお知らせ

11月に入り続々と学生が来日しました。内訳は1日に1名3日に5名、4日に1名、8日に3名です。その後も予定が入ってきておりますが、来日後は14日間の隔離を経る必要があり、現在は皆おとなしく隔離施設での生活を送っております。その後24日から授業開始を予定しております。

基本的には2022年の3月卒業予定なので、学習を急がなければなりません、何はともあれ来日できてほっとしております。



また、在校生は11月8日(日)に日本留学試験を終え、12月の日本語能力試験に向けて追い込みをしております。コロナの問題で日本語学習に関しても例年に比べると不利な点が多々あったかと思いますが、皆頑張ってくれていると思います。



第15回 名古屋中国春節祭

2021年1月9日（土）～11日（月・祝）に久屋大通公園で開催が予定されていた第15回名古屋中国春節祭ですが、新型コロナウイルスの影響で日時や開催場所などに変更があるようです。

詳しい変更内容につきましては12月のニューズレターにてお知らせ致します。

第15回桜二胡音楽会2020

風月同天 紅葉の調べ

日時：11月29日（日）15：00開演
場所：名古屋市公会堂（鶴舞公園内）
名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番3号
アクセス：地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」4番出口
市バス「鶴舞公園前」
JR 中央線「鶴舞駅」

演奏予定曲：「川の流れのように」「風月同天」
「茉莉花～紅葉」など

お問合せ：NPO 法人チャン・ビン二胡演奏団

TEL：052-763-1082



編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mail アドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEB サイト更新の通知などに使用致します。china@chuto.co.jp 宛にご送付ください。ニューズレターは、WEB サイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄 4-16-29 中統奨学館

TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036

一般社団法人日中文化協会 編集長 上山耕治